

第5回 成瀬小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2024年5月21日（火） 9：30～10：33	
開催場所	町田市立南成瀬小学校 2階 なんなるルーム（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	尾上委員、井伊委員、鈴木委員、福土委員、岩澤委員、柴田委員、中村委員、小山委員、沖委員、赤澤委員、後藤委員、森本委員、○隅田委員、◎吉成委員、遠藤委員 （◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター、防災課
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

学校教育部長 これまで、南成瀬地区における新たな学校づくりとして委員の皆様と話し合いを踏まえて通学路の実地調査、統合前の児童交流など、様々な取組を進めてきた。いよいよ来年度から南第二小学校と南成瀬小学校の統合が始まる。通学路の安全対策や校歌・校章、現在の南成瀬小学校の改修工事など、成瀬小学校の開校に向けて実際に取組が始まっている。

新たな学校づくりというのは、単に建物の新築計画ではなく、地域の拠点として学校をつくっていく取組である。この取組を進めていくにあたり、各組織や団体を代表して集まっていだいている皆様と、未来の子どもたちのために様々な議論をさせていただきたいと思っている。

教育委員会、学校のみならず、皆様とその取組を推進してまいりたい。

いよいよ本年、統合前年度となった。南成瀬地区は、本町田地区と併せて町田市の新たな学校づくりの先駆けとなる。町田の未来の子どもたちのよりよい教育のために、まずは来年度の統合に向け、これまで以上にスピード感を持って取り組むため、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

1 新たな学校づくり基本計画推進協議会について（委員委嘱・自己紹介・会長副会長選任等）

新たな学校推進課 （資料1－1説明）

〔 委嘱書交付 〕

各委員 （自己紹介）

（会長・副会長選任）

新たな学校推進課 （資料1－3説明）

2 第4回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料2説明）

3 報告事項

（1）成瀬小学校 新たな学校づくりに関する取組内容について

新たな学校推進課 （資料3-1説明）

委員 資料3-1の取扱いについて、例えば、PTA活動を進めていく際や、「まちとも」や、PTA会長として関わっている会議などで、この資料を基にスケジュールなどを立てても大丈夫か。

新たな学校推進課 問題ない。ぜひ参考にさせていただき、PTA活動など、保護者の方々にお伝えいただけたら大変ありがたい。

（2）成瀬小学校の校歌・校章の制作状況について

新たな学校推進課 （資料3-2説明）

（3）2024年度実施予定の通学路安全対策の内容について

学務課 （資料3-3説明）

委員 別紙の⑥は夢庵の交差点で合っているか。

学務課 合っている。

委員 ⑥交差点の信号を渡らせることにして、交番前の横断歩道を渡らないようにするために、横断歩道を無くすことはできないか。

信号がないところを渡っている駅前の状況のため、信号のあるところを渡るように町田市がしてくれないかと思っている。バスの渋滞等の原因になっていることもある。私の耳に届いている話では、成瀬台の地区の方が町田市に要望を出していると聞いている。子どもが渡らないで済む方法として、信号がないところは渡らないようにできたらと思っている。

学務課 成瀬駅前交番前にある横断歩道については、点検のときには、そこを通るという前提の話がなかったため、改めて町田警察署にお話はさせていただく。ただ、横断歩道をなくすということは、子どもたちだけではなく駅を利用される方の通行にも影響が出てくるため、そのあたりは警察に、子どもの安全のためにそうしたいですというお話をした後に、町内会など、もう少し大きなところから改めて同意を取った上で検討させてくださいという話になるかと思う。このお話があったということは意見として伝えさせていただく。

委員 資料3-3の④、こちらに固いガードパイプをつけられればというお話だったが、広さは十分にあると思っている。朝の時間帯など、業者の車が出入りをしている等の、交通量ではないところでの問題があると思う。それは町田市で対応していただけるのか。それとも、私たち保護者としてこの時間帯に車が出入りすると困るというのを言ってもいいのか。そこの交差点を渡るに当たって、会社をお願いすること

があると思う。町田市がどう考えているのかを教えてください。

学務課

民間企業の運搬であるため、営業に支障が出るような規制のかけ方は、町田市のほうではできない。町田市や地域の方、学校の方々と一緒に融通を利かせることができないですかというお話はできるかと思うが、子どものためにそこを通らせないようにするということは、基本的にはできないと考えている。

委員

資料３－３の③の場所にグリーン舗装をするということについて、長く丸がついているが、この長い部分がどこからどこまでなのか。

学務課

クリエイトの横から、公園の辺りまで引くことを検討している。しかし、実際にそこまで必要かどうかなど、学校ともお話をしながら検討させていただければと思う。

委員

ありがとうございました。

（４）工事期間中の避難施設について

防災課

（資料３－４説明）

委員

町内会・自治会の現状の組織率は大体３割というように聞いている。組織されていない方も等しく避難するということを考えると、「まちだの新たな学校づくり通信」を通しての周知というのが、果たしてどの程度確実なのか。全戸配布されているのか。

新たな学校推進課

「まちだの新たな学校づくり通信」の配布は、地域については、通学区域内に所在する町内会・自治会に対し回覧している。保護者については、児童を経由して各保護者の方に配布している。

委員

となると、情報の周知が漏れることが想像に難くない。発災時に気をつけなければいけないのは、パニックを防ぐということだと思う。そのためには、３年間とはいえ、イレギュラーな状況を事前に皆さんにしっかりと、どういう対応を市は考えているのか、プラスアルファの手だても使いながら周知を徹底してもらえるとありがたい。学校がお役に立てる場面があれば、一緒に貢献していきたいと思う。

防災課

避難施設の情報の周知については、防災のほうでもでき得る限りの方法で周知を図ってまいりたい。

（５）２０２４年度における学校の取組について

会長

（資料３－５説明）

委員

項番２の保護者説明会はどの時間帯でやるのか。４月に行った保護者会の際、低学年の保護者で下のお子さんを連れている方が多かったことから、騒がしくてあまり集中できなかったという話を耳にした。隣の高ヶ坂小学校では保護者会などで、ぽこ・あ・ぽこに協力してもらっている。

委員

ボランティア団体であり、保護者会や総会、運営委員会があるときにボランティアの方が、小学校３年生ぐらいまでの子どもの面倒を見てくれるという会がある。

委員

そういった形で、保護者の中でボランティアを募って子どもたちを見ていられたら集中して聞けると思った。そういった取組は考えているのか。

- 会長 特にボランティア団体を入れてのお預かりは考えていないが、何かうまくいける方法があれば、一緒に検討させていただきたい。
- 時間帯については、南成瀬小学校は工事のこともあるため、学年単位で分かれて保護者会をし、その後に説明するという形になっている。南第二小学校はこの説明をする保護者会と考えている。
- 委員 通学路安全対策にも重複するが、昨年度、交流事業や校歌・校章の委員会で引率をした際、まだ通学路が100%決まっていなかったため、本来通学路として使わない道を時間が短いからという理由でたくさんの先生が引率した上で通っていた。これをやると、子どもたちの中で、ここは登下校に使っていいという認識になってしまうのではないと思う。今年度から交流事業などの際には、確実に決まったルートを教育委員会と相談して、どこまでの情報を学校に下ろし、先生たちに下ろすのかを明確にしてほしい。街探検を色々な学年でやっているため、その中でも、ふだんから気をつけて歩いてもらう、注意してもらうようにしたほうが効率いいと思う。
- 会長 移動時間や、その後の下校の時間というのもあり、引率する際には近くを通るといふところがある。また、公園までは避難経路でもある。そのため、その先の川沿いに行っているといふところがあると思うが、検討していきたい。
- 副会長 通学路については、今日示されたのもまだ案である。正式なものは、本校の現状の通学路部分に関しては、PTAの協力もいただきながら、秋にもう一度、独自の実地踏査をしたいと思っている。それを踏まえて、変更ということも想定している。
- 加えて、南成瀬小学校の現状の子どもたちが28年度から新築の学校に通う際にも、同様に通学路の再検討がされる。それを踏まえて、子どもに、ここが安全だ、ここは危険だということは指導しながら本番を迎えられるよう、しっかりと取り組んでいくように、学務課とも情報共有を続けていきたいと思っている。
- 新たな学校推進課 最終的に確定するのは、時期としてはもう少し後になる。この1年の間にどこを歩いていこうかなと準備をしたり、実踏したりということも考えているといふところで、昨年度、最後の協議会の中で、通学路の案を示させていただき、この形で納得をしていただいた。今日もその地図に対策の内容を重ねてきているが、この時点での通学路の案という形で、今後、保護者説明会や学校のお便りなどでお知らせをしていただき、通学の練習など、徐々に考えるといふことはやっていただいて構わない段階に入っていると考えている。ご連絡いただければ、その時点での図案なども共有させていただく。
- 委員 新学期になって子どもたちが、来年度に向かってうきうきしていることが伝わってくる。このことが決まってから、先生方が子どもたちに、友達が増えるよというキーワードになるような言葉をぶれずにずっとご指導いただいているおかげだと思う。新しい学校になるといふところと、友達が増えるといふところで、同じことだが、子どもたちの中の不安を、学校にいる時間の中では先生のおかげで楽しい期待になっていると思っている。こういうことを伝える機会がなかったため、お伝えさせていただいた。

会長 励みになる。今後も頑張っていく。

委員 子どもたちの交流事業について、今の段階だと大体1学年、2学年ずつぐらいの交流だったが、全校遠足となるとかなり人数が増えると思う。保護者のサポートなどは大体どれくらい必要かというのを今の段階でどのように考えているのか。

副会長 両校の児童は現地で合流することを計画している。そのため、各校で従来の全校遠足で過不足なく対応していた安全対応をベースに今回も運用していきたいと思っている。その上で、お力をお借りする場合には各校、お願いをすることになるかと思う。

会長 お手伝いが必要な場合は、ご相談させていただきたい。

4 次回開催予定

新たな学校推進課 第6回基本計画推進協議会

2024年7月30日（火曜日） 9時30分 南第二小学校会場

会長 （閉会）